

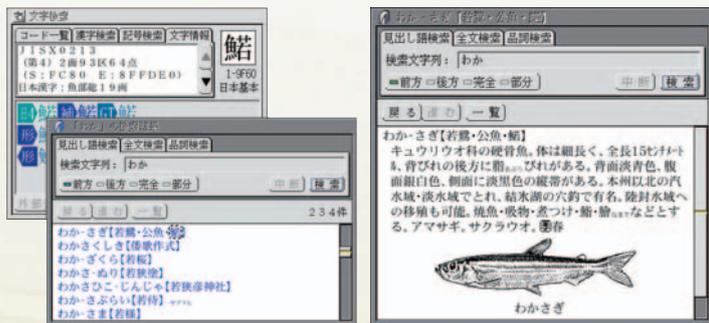
超漢字広辞苑

【当社通販価格】 13,800円(税別)

多くの日本人に愛されている国民的な辞書『広辞苑第五版』（岩波書店刊）を、超漢字上で簡単に引けるようにした電子国語辞典ソフトウェアです。超漢字の多漢字機能を活かして、書籍版『広辞苑第五版』に記載された漢字の字形をパソコン上でも正確に再現しています。約23万項目、および約2700点の図表を収録。見出し語の検索は、以下の6種類から選べます。

- 完全一致、前方一致、後方一致、部分一致、
- 全文検索（見出し語と解説文すべてを検索）、
- 品詞検索（特定の品詞情報を持つ見出しを検索）

「広辞苑」は株式会社岩波書店の登録商標です。



「超漢字広辞苑」の検索画面

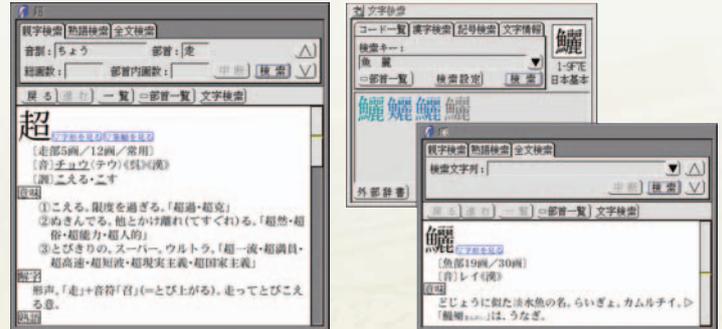
図版入り画面の閲覧

超漢字岩波新漢語辞典

【当社通販価格】 7,000円(税別)

『岩波新漢語辞典第二版』（岩波書店刊）を、超漢字上で簡単に引けるようにした電子漢和辞典ソフトウェアです。類書では最大の約11,800字の親字、約36,000語の熟語を収録しています。書籍版『岩波新漢語辞典第二版』で使われている字形を文字コード化しており、外字や図形イメージを利用することなく正確な字形を再現しています。

また、超漢字の文字検索機能が持つ漢字構成部品（ヘンヤツクリ）や関連字の情報から本ソフトの該当ページにジャンプしたり、逆に本ソフトから文字検索の文字情報のページへジャンプできます。



「超漢字岩波新漢語辞典」の閲覧

文字検索小物との連携

超漢字康熙字典

標準版25,000円(税別)
【当社通販価格】
高精度版98,000円(税別)

中国の清の時代に編纂され、現在使われている漢字の活字字体の典拠とされている漢字の辞典「康熙字典」の全ページを、超漢字上の画像イメージとして閲覧できるようにした電子辞書ソフトウェアです。清朝宮廷内の内務府で発行されたオリジナルの「内府本」と、江戸安永年間に日本で翻刻された「安永本」の両方を収録しています。超漢字の持つ文字検索機能との連携により、漢字の構成部品（ヘンヤツクリ）や読み、画数、異体字、関連字などの手がかりから、見たい漢字を素早く検索し、その掲載ページをワンタッチで表示できます。「標準版」のほか、原書の精緻な画像をより高い解像度で再現できる「高精度版」の2種類の製品をご用意しています。

「超漢字康熙字典」は「康熙字典データベース」のデータを元に作成したソフトウェアです。
「康熙字典データベース」 Copyright (c) 2001 by 日本学術振興会



内府本

安永本

超漢字トンパ書体

【当社通販価格】 8,000円(税別)

中国雲南省の納西（ナシ）族に伝わる世界唯一の生きている象形文字、「東巴（トンパ）文字」を超漢字上で自由自在に使えるようにする文字フォント（書体）です。トンパ文字は、素朴で愛敬のある字形により、日本国内でも人気が高まっており、グッズなどさまざまな関連製品が登場したり、マスコミでもたびたび紹介されたりしています。

このトンパ文字を超漢字上のワープロやメールなどのアプリケーションで使うことはもちろん、付属のトンパ辞書をユーザ辞書に登録すれば、かな漢字変換の要領で、かなからトンパ文字へ直接変換できます。また収録されている1362文字のトンパ文字を検索できるデータベースも付属しています。



超漢字トンパ書体のサンプルデータと背景画面

トンパ文字のデータベース

www.chokanji.com

超漢字ウェブコンバータ 超漢字ウェブサーバ

【当社通販価格】 10,000 円（税別）

【当社通販価格】 50,000 円（税別）

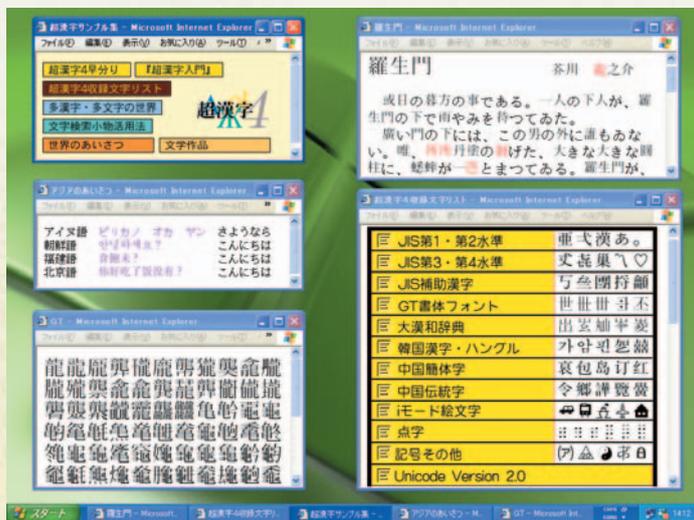
超漢字パソコン内に作成された多漢字やハイパーリンクを含むコンテンツを、そのままホームページとしてインターネットを通じて世界に情報発信するためのソフトウェアです。

●超漢字ウェブコンバータ

「超漢字ウェブコンバータ」は、超漢字で作成された文書データ(コンテンツ)を、HTML形式に変換して、ウェブサーバにアップロードするためのソフトウェアです。超漢字上のコンテンツを「超漢字ウェブコンバータ」に通すだけで、そのままインターネットプロバイダ上のウェブコンテンツになりますので、ホームページ作成ソフトなどは不要です。

●超漢字ウェブサーバ

「超漢字ウェブサーバ」は、超漢字で作成された文書データ(コンテンツ)を、リアルタイムにHTML形式に変換し、HTTPプロトコルで発信するためのソフトウェアです。超漢字が、その上で作成・蓄積したコンテンツをインターネットや社内LANに配信するウェブサーバになります。



超漢字ウェブサーバ

■特長

●多漢字データをそのまま発信できます

多漢字、多文字部分の文字フォントを画像イメージに展開するので、Internet Explorer やNetscapeなどのブラウザを使って、Windowsをはじめとした超漢字以外の環境から、多漢字・多文字コンテンツを閲覧できます。

●実身/仮身のネットワークを公開できます

超漢字上で作成したローカルコンテンツが、そのままハイパーリンクを含むウェブコンテンツになります。このため、ホームページ作成にあたってHTMLなどの知識は不要です。

●HTML文書と混在できます

発信したい情報は、HTMLで直接記述することもできます。複雑なホームページを直接HTMLで書いたり、すでに作成済のHTML文書をそのまま発信したりすることができます。

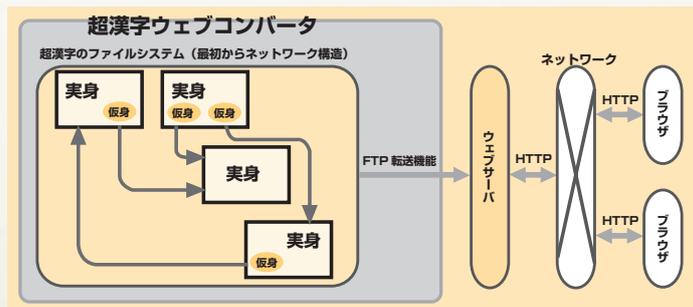
●書庫やバックアップ実身のダウンロードができます

書庫やバックアップ実身をダウンロード用に揭示できます。大規模なデータも、書庫実身やバックアップ実身としてまとめて、ダウンロード用のリンクとして公開することが可能です。

■両製品の違いと使い分けの例

●超漢字ウェブコンバータ

実身/仮身の情報を公開するために、プロバイダが提供するホームページ公開機能を利用できます。ネットワークの保守や維持管理は、プロバイダ側が行うため、ユーザーはコンテンツの作成に集中することができます。

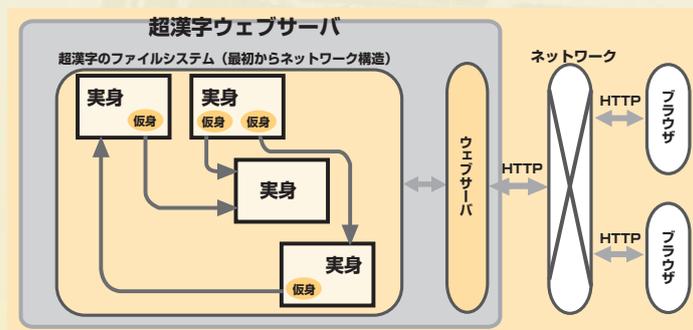


超漢字ウェブコンバータの範囲

- 有効な利用例：
- ・すでに契約プロバイダ上にホームページ用のスペースがある
 - ・大規模な接続要求が予想される

●超漢字ウェブサーバ

HTTPサーバの機能を内蔵しているので、別途HTTPサーバを用意する必要はありません。超漢字ウェブサーバを含めた、ハードウェアやネットワークの保守や維持管理は、ユーザー自身で行えます。超漢字上でデータを更新すると、即時にその内容が発信されます。



超漢字ウェブサーバの範囲

- 有効な利用例：
- ・オフィスや学校などの小規模なネットワーク(イントラネット)において、情報共有を行いたい
 - ・すでにサーバを運用している

●違いのまとめ

	超漢字ウェブコンバータ	超漢字ウェブサーバ
HTML への変換タイミング	あらかじめ一括変換	ページ閲覧時に自動変換
HTTP サーバ機能	なし	あり
FTP 転送機能	あり	なし
更新の即時性	再変換、再転送が必要	リアルタイムに更新
ハードウェアへの負荷	小さい	大きい

超漢字ウェブコンバータと超漢字ウェブサーバの違い

www.chokanji.com